

貸出点数が変わりました！

4月1日から、全館であわせて30点までになりました。このほか、この春からのご利用の変更点をお知らせします。

●貸出点数について

●全館であわせて30点です。(各図書館ごとではありません)

●本、雑誌、CDなどの組合せは自由です。

●移動図書館での貸出は10点までです。移動図書館での貸出資料も30点の中に含まれます。

●貸出期間について

●貸出期間はこれまで通り、14日間です。

●貸出期間の延長をご希望の際は、その資料をお持ちの上、窓口でお申し出ただくか、ホームページなどで手続きをしてください。(パスワードの登録が必要です)

●予約のある資料や、返却期限日より2週間を過ぎってしまった資料は延長できません。

●図書館利用者カードについて

●利用者カードの申請はご本人に限ります。

●利用者カードの有効期限は1年間です。1年ごとに更新が必要です。

●利用者カードの新規発行、更新、住所などの変更、再交付の手続きには、本人確認書類の提示が必要です。(住民票の写し、運転免許証、健康保険証、生徒手帳など)

●利用の制限について

●返却期日から60日を過ぎますと、貸出及び予約受付等が停止となりますのでご注意ください。

●図書館資料を紛失または破損した場合は、弁償をお願いすることがあります。60日を過ぎても弁償資料をお持ちいただけない場合は、貸出及び予約受付等が停止となります。



予約した資料が一度にたくさん届いても大丈夫。



図書館の資料はみんなの財産。ルールを守って大事に使おうね！



調宮(つきのみや)の名前で愛されている調神社

「月読尊…」
「古事記ではあんまり活躍してはりまへんけど、尊い神だす。月読神社は(中略)、関東は武蔵国北足立郡岸村にあります。もっとも岸村のは調神社になつてますが、これも祭神は月読尊やと思つてます。岸村というのは、現在の浦和市だす。埼玉県庁のあるところだす」
さすがに宮司だけに全国の神社を暗記しているようだった。とくに調神社は今の浦和市にあると云われて、吉屋は足もとを指された気がした。
(松本清張「神々の乱心」下より、p.179)

わがまち はっけん Sai 発

さいたま市 de ミステリー

さいたま市が舞台の推理小説

千篇にのぼる作品を残した松本清張の未完の遺作「神々の乱心」(文藝春秋、1997)は、昭和史の闇を描いた推理小説です。新興宗教と古代史の複合した連続殺人事件に埼玉県特高課第一係長と子爵家の次男が翻弄される内容で、調神社などが登場します。他にも清張の「草の陰刻」(講談社、1965)には、大宮郵便局の消印が押された官製葉書と高崎線が登場します。清張以外にも、現在活躍中の作家の推理小説には、さいたま市の多くの場所が登場しています。その一部をご紹介します。

ロイヤルトレイン * * 寝台特急「北斗星」殺人事件

西村京太郎著 光文社、1998

新幹線やブルートレインが停車する大宮駅は時刻表ミステリーの経由地点としてはよく登場しますが、トリックの鍵を握る重要な舞台として登場するのがこの「寝台特急「北斗星」殺人事件」です。踊り子号が爆破され、青函トンネルを走る北斗星5号にも爆破予告が。仕掛けられた爆弾の謎を追って警視庁捜査一課十津川省三がJR大宮工場へ跳ぶ。この作品の第9章のサブタイトルは「大宮工場」。鉄道博物館オープン前の姿が仔細に描かれています。

鳥取難送り殺人事件

内田康夫著 中央公論社、1991

十津川警部とならんで人気が高いのが、内田康夫の旅情ミステリーに登場する名探偵浅見光彦です。

この「鳥取難送り殺人事件」では、新宿の花園神社で撲殺された難人形師の死体を光彦が発見、袂の謎を解く手掛かりを求めて岩槻市役所や人形記念館を取材してまわります。光彦は鳥取に捜査に行き、その長期不在中に事件が起きるのが、「浅

う名の残酷ないじめ。20年後の同窓会にあわせて進行される大量殺人計画。担任教師が浦和市内の私立女子高校で教員をしていることから、浦和駅西口、与野駅みどりの窓口、武蔵浦和駅などが登場します。日本推理作家協会賞(長編部門)受賞作品。

長い腕

川崎草志著 角川書店、2001

上尾市に住み、さいたま新都心にあるゲーム制作会社に勤務している島汐路は、同僚の転落死を目撃。故郷で起きた女子中学生射殺事件と同僚の死の関連に気づいて調査を始める汐路は「浦和東図書館」を利用しています。図書館が好きなのは「昔風の図書館の雰囲気味わいたい時には県立図書館に行く」、落ち着きたい時は浦和中央図書館を利用(086)していて、閉館間際の図書館の様子ガリガリに描写されています。横溝正史「ミステリ大賞受賞作品」。

天使のナイフ

栗丸岳著 講談社、2005

榎山高志はシングルファーザーで、氷川参道近くにあるカフェの店長。17歳の定制高校生が大宮公園で殺害され、榎山は容疑者にされてしまう。被害者は元少年B。4年前に、娘の目の前で妻を殺した犯人の一人だ。彼ら犯人は当時13歳であったがために「殺人事件」が「非行」と置き換えられ、謝罪の言葉も懺悔の涙も刑を受けることもなく「更生」という言葉で片付けられてしまっていた。物語の冒頭で、蓮田駅から大宮駅に向かう宇都宮線よりの車内風景から榎山の心情が描写されていきます。大宮周辺を舞台に罪と贖罪の意味を問う社会派ミステリーです。江戸川乱歩賞受賞作品。

見光彦殺人事件」(角川書店、1991)です。北原白秋の詩集の謎に挑む光彦。ヒロイン寺沢詩織の伯父伯母が浦和に住んでいます。

光彦が犬乗り童子の謎に挑む「朝日殺人事件」(実業之日本社、1992)のラストシーンでは、密室殺人事件の犯人が、大宮市内のマンションに住んでいることがわかります。

諏訪湖マジック

一階堂黎人著 徳間書店、1999

JR大宮駅北側の陸橋から高崎線めがけて投げ落とされて、上り列車に跳ね飛ばされた男性の死体。実は2ヶ月前には、同じ場所で同じ時刻に同じ列車に主婦の投身自殺があった。旅行社に勤める水乃サトルは、元同僚の女性から失踪中の父親の捜索を依頼されるのだが、大宮駅の轢死体が彼女の父親だった。武田信玄の墓が湖底にあるという伝説が絡んで、事件の舞台は諏訪市に移ってゆきます。

広域指定127号事件

鳥羽亮著 講談社、1994

岩槻市の元荒川河川敷、墨田区、那須町の三ヶ所と同時に自動車が発見された。警視庁捜査一課南部平蔵以下7人の刑事は、わずかな手掛かりと足で稼いだ情報を頼りに真相に迫る。次第に被害者3人の接点が明らかになるが、警察の持つ捜査力を逆に利用した犯人の巧みな罠が仕掛けられていた。警視庁捜査一課南平班シリーズの2作目。

沈黙の教室

折原一著 早川書房、1994

青葉ヶ丘中学3年A組で行われていた肅清とい

奇跡の人

真保裕一著 角川書店、1997

交通事故で記憶を失った相馬克己は社会復帰を機会に過去の自分探しを始めるが、かつて愛した女性と浦和市元町3丁目に住んでいることを知る。県立近代美術館や北浦和公園など実在する場所がほかほかながらも描かれています。

発火点

真保裕一著 講談社、2002

12歳の夏に父を殺された過去を持つ21歳の主人公が、失った9年間と父の死の真相を求める物語。杉本敦也の本籍は大宮市天沼町5丁目。再び故郷を訪れる敦也が大宮駅で電車を降りて母の実家を訪ねます。太宰治の「斜陽」がキーワードの一つになり、「走れメロス」を図書館で借りるシーンもあります。

この作品の文庫版あとがきで作者は、物語の舞台の選定について「物語の雰囲気を作る際、街は重要な役割を果たす」と記しています。

誘拐ラプソディー

荻原浩著 双葉社、2001

さいたま市の旧4市全域をまたにかけた誘拐劇で、埼玉県警察、広域指定暴力団、外国人マフィアが伊達秀吉に迫ります。

作者は冒頭に「地図から消えてしまった我が故郷、大宮市」と記しています。秀吉が、田園地帯と住宅街が混在する先にあるスーパーアーリーナを眺めて「一面のレンゲ田の向こうに、モニュメントのような高層ビル群と円形ドーム風の建物が見える」(p.82)とつぶやくシーンがあります。七里をナナリと読み間違えたりするところも、20年以上大宮に住んだ作者の郷土愛の表れとも思えます。

たいして作業が進まない内に図書館の閉館を知らせるアナウンスが始まった。あわてて、汐路は図書館備え付けの有料コピー機に向かう。(中略)かなりの時間がたち、汐路以外の利用者は、いなくなった。エプロンをした女性の図書館職員がちらちらと汐路の方を見始めた。その図書館職員が汐路に注意しようと席を立ったとき、やっとコピーが完了した。
(川崎草志「長い腕」より、p.87)



閉鎖間際の東浦和図書館



大宮工場は、現在大宮総合車両センターの名称に。

大宮工場は、JR大宮駅の近くというより、駅につながった形で工場の敷地が広がっていた。高さ二メートルほどの白い壁に沿って、車を走らせると正門に着いた。二人は車を降りて、守衛所に行き、警察手帳を見せて、責任者に会いたい旨を告げた。
(西村京太郎「寝台特急「北斗星」殺人事件」より、p.193)

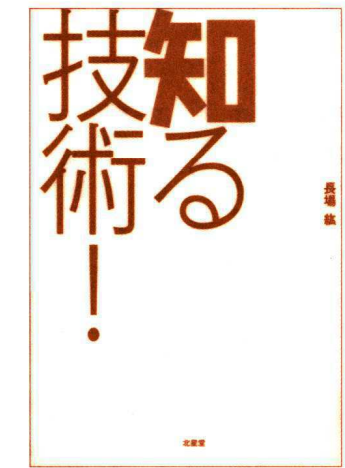
(西村京太郎「寝台特急「北斗星」殺人事件」より、p.193)

本読みの付き合い方

寺田寅彦は、「読みたい本、読まなければならぬ本があまりに多い。みんな読むには一生がいくつあっても足りない」といつも思っていて、「のんきに書店の棚を見てあるくうちに時々気紛れに手を延ばして引っぱりだす書物が偶然にもその人にとって最も必要な本であるというようになるのではないか」(*)ということを理想としていたようです。

書棚に並んだ本を眺めることの面白さは、普段は全く関心を寄せないような分野の本との出会いにあるのではないのでしょうか。図書館には世の中のあらゆるジャンルの本があり、直接書架をめぐって思いのままに本と出合うことができます。自分の関心のおもむくままに手当たり次第に本を読める自由さは図書館ならではです。じゃあ、読むか。

*「読書の今昔」寺田寅彦全集第3巻(岩波書店、1997)所収、昭和7年初出



知る技術!

長場絃著 北星堂書店、2009

人間は好奇心に満ち、絶え間なく知的刺激を追い求めています。疑問に思った事、知りたい事があれば、誰もが図書館へ足を運びましょう。図書館には本、雑誌、マイク・フィルム、CD・ROMなどの莫大な資料があります。しかし図書館へ行っても必ず回答が求められると思われる本の探し方、使い方を知らなければどうにもなりません。こうした時に役立つのが、図書館で行われている仕事のひとりの「レファレンス・サービス」。これは図書館員が本の探し方を案内したり、適切なレファレンス・ブック(参考図書)を紹介する事です。しかし、最終的には自分自身で回答を探さなければなりません。

自宅で簡単にインターネットで検索すれば、すぐに答えが出てくる時代。この本の方法で調べたいこと、そこから思わぬ方面への知識に出会い、また違った楽しさを発見する事が出来ます。

図書館利用法の参考書として活用してほしい一冊です。

ペナック先生の愉快的読書法

読者の権利10カ条

ダニエル・ペナック著 浜名優美ほか訳 藤原書店、2006

読書を義務として押しつけるのではなく、読書の旅の楽しさを本についてあらゆることを教えた父親であり、朗読という手法を用いることにより、読む楽しみをひた

すら伝えることを試みた高校教師である著者の、異例のそして理想的な読書論です。

「読者の権利10カ条がふるっています。」

そうだ! 『本を読まなくてもいいんだ』『飛ばし読みしていいんだ』『最後まで読まなくていいんだ』『何度読み返してもいいんだ』『手当たり次第何を読んでもいいんだ』『主人公になりきっていいんだ』『どこで読んでもいいんだ』『拾い読みでもいいんだ』『声に出して読んでいいんだ』『何を読んだかなと言わなくていいんだ』。

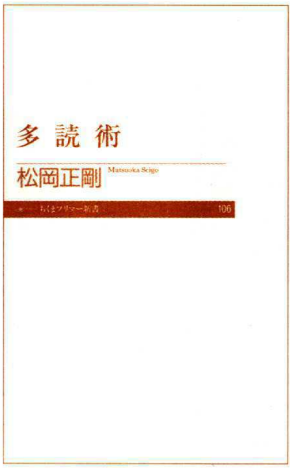
でも、この本を読み終えると「本を読まなければならぬ」のではなく「本を読みたい気持ち」になっけてしまします。

書齋の王様

「図書」編集部編 岩波書店、1985

著名人による我が家の書齋自慢、かと思いきや、自慢どころか書齋を持たない人まで登場する、書齋にまつわるエッセイ集。

書齋を機能的な「一冊の個人用百科事典」に仕立て上げた大江志乃夫、新聞記事収集に入れあげて書齋が新聞に侵食されてゆく倉田喜弘、リン「箱」を書棚にして緊密な「要塞」を作り上げた立花隆などはまさに正統派。カバンに一式そろえて「移動書齋」をつくった椎名誠や、喫茶店を渡り歩いて書齋代わりとした小田島雅志のような変わりタネも登場し、稀覯本「マニア」としてならした由良君美が自分の収集品について嬉々として語っているのがまともに見えるほど、様々な書齋観をみる事ができます。



としょかん
探偵事務所

国民読書年とはどう
いうもの? ほかにも
読書に関わる日はあ
るの?

4 国民読書年とは、日本の活字離れを食い止め、読書への意識を高めるために制定されたもので、政官民協力のもとで国を挙げてあらゆる努力を重ねることが定められています。ここでは、本年を国民の文字・活字文化への関心を呼び戻すための出発点として位置づけ、子供の言語力の向上を一つの大きな柱とし、学校、家庭、職場におけるGNRR(=Gross National Reading)の底上げを図ることが目標とされています。

これにちなんで、秋には国民読書年記念祭典としてコンサートや朗読などのイベントも行われる予定です。

読書に関わる日・週間には次のようなものがあります。

「子ども読書の日」(4月23日)
子どもたちに読書に親しんでもらおうと、2001年LJL(子どもの読書活動の推進)に関する法律で定められました。

「文字・活字文化の日」(10月27日)

国民の間に広く文字・活字文化についての関心と理解を深めるようにするため、2005年に文字・活字文化振興法で定められました。

「読書週間」(10月27日～11月9日)

読書の普及のための行事週間として、1924年に「図書館週間」から発足し、戦争による中止や名称・期間の変更などを経て現在にいたります。

そこで気付かされるのが、そうした書齋のあり方に、実は各人の本や資料との付き合い方があらわれていること。コンピュータが普及した現在、こうした書齋はノスタルジーをかきたてるものですが、本との付き合い方の多様さも教えてくれるものなのです。

多読術

松岡正剛著 筑摩書房、2009

一日一冊の本をWebで紹介する「千夜千冊」などで、読者と編集の達人として知られる著者の読書観はユニークです。多読とは、スピードで読む読書のことではありません。本は一冊ずつ、一冊だけを読むのではなく、ジーンズのうしろにセーターを着たりジャケットを着たり、服を着る時のように、組み合わせを楽しみながらするものだと言っています。食べることに例えれば、いつもは鮭のおにぎりだけと今日はツナマヨ、というように体調や気分に応じて読むものを変えたり、つまみ食いもしたり。

著者は問います。「読書」というのはいったい何をしていることなのか。誰かの書いた文章を読むなかで、自分の感情や意識が混ざっていきます。一種の「コラボレーション」です。読んでいる環境も、本の印象を変えるでしょう。また、読書は読む前から始まっている、図書館や書店の空間自体が「読書することなのだ」と言います。読書は、孤立した世界ではなく、複合的に世界とつながっているのです。

春野図書館

春野図書館は平成10年6月に開館しました。国道16号バイパス沿いの新興住宅地の一角にあります。東大宮駅からは少々離れていますが、路線バスが頻繁にでており、バス停「アーバンみらい（春野図書館）」で降りると目の前です。



「人によさしい身近な図書館」が春野図書館のモットーで、書架の間を広くとり、高さも低くおさえて、車椅子でも自由に利用できるように工夫されています。また、吹き抜け天井から自然光を取り入れて、明るく開放的な中で読書を楽しむことができます。開館した時には「大宮市住みよい福祉の街

づくり整備基準」及び「埼玉県福祉のまちづくり条例」の適合施設として認定されました。

この二階の吹き抜け廊下を利用したギャラリーは、市内の画家の展覧会やボランティアアグルー



プの作品展を行い、市民の方に身近なギャラリーとして親しまれています。

蔵書は12万冊で、内容は大人向けと子供向けの読み物から、絵本、料理、手工芸、健康、自然、環境に関する図書等、生活に役立つ資料を中心に収集し、幼児から年配の方までだれでも手軽に利用できるように心がけています。

また、季節ごとの展示や、毎月テーマを決めて展示を行い、本が利用しやすく魅力ある図書館をめざしています。図書館のすべそばを流れる深作川の周辺は豊かな自然の残る野鳥の楽園です。カルガモ親子の姿も見られ、春にはひばりのさえずりも聞こえるため、春野図書館のシンボルマークは「ひばり」です。

少し足をのびせば多間院や宝積寺も点在し、深作多目的遊水地自然遊歩道も整備されていますので、散策の折にはぜひ春野図書館にお立ち寄りください。

さいたま来ぶらり通信 第11号お詫びと訂正

前号11号に、誤りがございました。お詫びして訂正します。

● 2ページ目

1 段目最終行

誤「吉田晃」↓正「古田晃」

2 段目第1行目

誤「宇治田積（初代大宮町長・・・）」↓正「宇治田積（最後の大宮町長・・・）」

● 3ページ目

1 段目4行目

誤「開田史郎」↓正「関田史郎」

同6行目および11行目誤「沙和宗一」↓正「沙和宋一」

● 6ページ目

2 段目14行目

誤「緑区にふたつのサッカー場」↓駒場スタジアムは浦和区でした。



編集：さいたま来ぶらり通信編集委員会 発行：さいたま市図書館

<http://www.lib.city.saitama.jp/> 携帯電話用 <http://www.lib.city.saitama.jp/m/> (下のQRコードを読み込んでください)

北浦和図書館 832-2321	桜木図書館 649-5871	春野図書館 687-8301	与野南図書館 855-3735
南浦和図書館 862-8568	大宮西部図書館 664-4946	大宮東図書館 688-1434	岩槻図書館 757-2523
東浦和図書館 875-9977	三橋分館 625-4319	七里図書館 682-3248	岩槻駅東口図書館 758-3200
桜図書館 858-9090	北図書館 669-6111	片柳図書館 682-1222	岩槻東部図書館 756-6665
大久保東分館 853-7100	宮原図書館 662-5401	与野図書館 853-7816	
大宮図書館 643-3701	馬宮図書館 625-8831	西分館 854-8636	

事務局：中央図書館 浦和区東高砂町11-1 TEL 048-871-2100

★★編集委員より★★ 新しい生活が始まるこの時期。図書館も新しいコンピュータが動き始めて1ヶ月がすぎました。人との出会い同様、本との出会いも大切にしていきたいですね。

